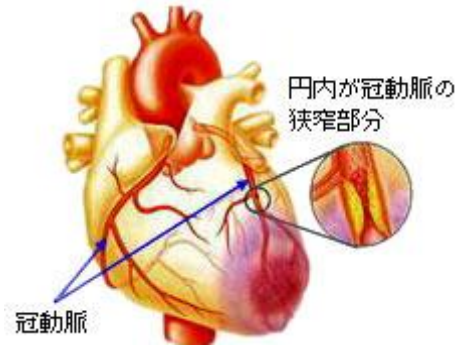


冠動脈CT検査を受けられる患者様へ

心臓を栄養している血管を、**冠動脈**といいます。

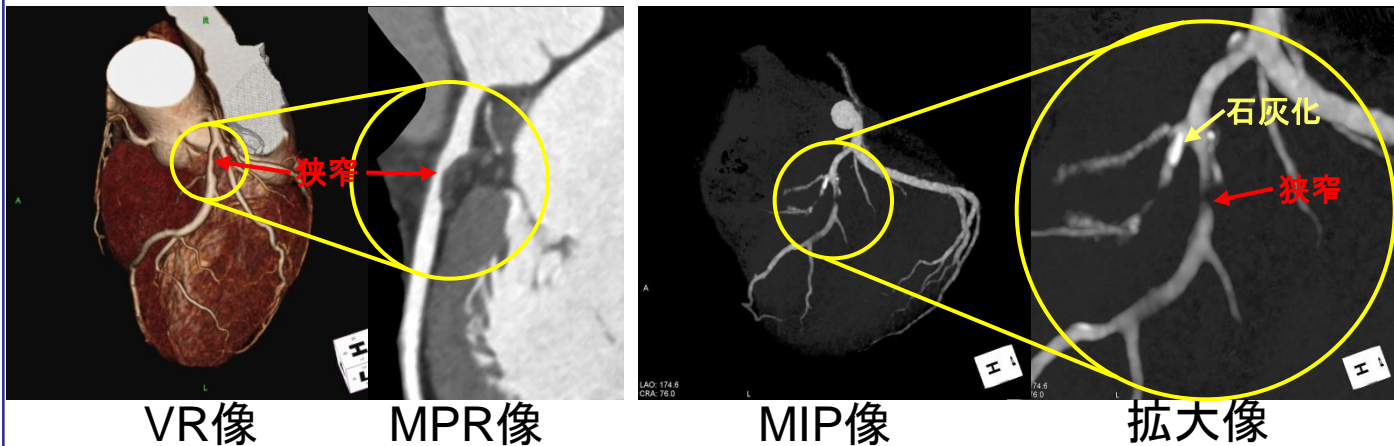
冠動脈が動脈硬化によって狭くなる病気を**狭心症**といい、つまってしまう病気を**心筋梗塞**といいます。狭心症や心筋梗塞の確定診断をつけるためには従来、冠動脈のカテーテル検査が必要でした。



住友病院では、平成31年4月に192スライスCT装置を更新し、CT検査でより精細に冠動脈を撮影することができるようになりました。

この冠動脈CT検査は、造影剤を腕の静脈から入れて冠動脈を造影するだけの簡単な方法です。

撮像時間は10分程度ですが、着替え、事前説明、息止め練習、前処置等により検査時間は**約20～30分程**になります。



冠動脈CT検査の利点

冠動脈の検査方法として、冠動脈CTと心臓カテーテル検査があります。カテーテル検査は入院が必要です。

一方、CTは**外来で、短時間に、低コストで、非侵襲的に**検査が可能(撮影時はわずか10数秒の息止めで終了)です。

CT画像で何らかの所見がみられた場合には心臓カテーテル検査が必要となる可能性があります、その場合でも納得してカテーテル検査をお受けいただくことができますと思われる。

冠動脈CT検査を受けられる際の注意

- 綺麗な画像を撮影するために、撮影前に冠動脈を広げたり、心拍数を減少させる薬を使用することがあります。
- 他の造影検査と同様に**検査前3時間は絶食**で検査を受けてください。飲水は検査直前を除いて結構ですので十分に水分補給をしておいてください。
- 検査後はお食事も生活も普段どおりで構いませんが、造影剤は全て尿と一緒に排泄されるので**水分は普段より多めに**取っていただくようお願いいたします。
- 造影剤の副作用**:吐き気・発疹などは数万人に1人程度と非常にまれです。今までに**造影剤**で副作用の出現したことがある方、**食品や薬物にアレルギー**のある方はお申し出ください。稀にはありますが、症状の軽いものから突然のショック状態にいたるものまで、さまざまな程度のものが起こりますが、**重篤な副作用の頻度**検査の数時間後に発疹が出る場合がありますので、何か普段と違う症状がありましたら病院へご連絡下さい。

また、一部の糖尿病治療薬を服用している場合、ヨード造影剤の使用により重い副作用を引き起こす可能性があります。他病院で処方されているものも含めて服用されているお薬は**スタッフにご連絡**ください。一時的に内服薬を中止していただく場合があります。

- * 検査の進捗状況により、検査開始時間が遅れる場合があります。
- * 検査時間に遅れて来院された場合、検査が出来ないことがあります。

冠動脈CTにむいていない患者様

▲冠動脈に石灰化が多い

石灰化が多いと、技術的に血管内腔を上手く描出する事が出来ません。

石灰化の多い冠動脈である事が判明した場合や、冠動脈ステントが多数入っている方も、技術上好きな画像を得る事がむずかしく、カテーテル検査などで確認をお願いさせて頂く場合があります。

▲腎機能が悪い、造影剤にアレルギーがある

血管内腔をきれいに描出するために造影剤を使用します。造影剤は腎臓から体外に出て行きますが、腎臓の機能が悪い方には使用できないことがあります。CT撮影前に血液検査による腎機能の評価が必要です。

▲不整脈が多数出ている

不整脈の種類によって撮影が上手くいかない事がありますのでご相談ください。

▲10数秒程度の息止めが出来ない

耳が遠いなど、当院の指示が十分伝わらない方も含みます。



SOMATOM Force